

仙台市の自転車安全利用に関する施策の効果について

○仙台市内の交通事故及び自転車事故発生件数

仙台市内の交通事故件数及び自転車事故の発生件数については、毎年減少を続けている。

	H24	H25	H26	H27	H28
全事故発生件数	5,003	4,853	4,487	4,157	3,787
自転車事故発生件数	915	856	805	767	634

○仙台市内自転車警告カード属性別交付状況

仙台市内における自転車警告カード(自転車レッドカード)の交付についても、平成24年から減少を続けている。

	H24	H25	H26	H27	H28
中学生	1,647	994	858	436	397
高校生	4,955	3,318	3,384	2,102	2,283
専門学校生	1,276	996	901	664	580
大学生	4,413	2,394	3,140	2,199	1,802
会社員	8,264	6,189	4,809	2,785	1,813
主婦	758	519	369	69	75
その他	3,914	3,235	2,615	2,078	1,188
合計	25,227	17,645	16,076	10,333	8,138

(宮城県警察本部提供資料より作成)

○平成28年中スケアード・ストレイト方式の自転車交通安全教室実施後のアンケート結果

下記は昨年11校に対し実施したスケアード・ストレイト方式の自転車交通安全教室の際に生徒及び教師等向けに実施したアンケート結果の一部であり、当該教室が自転車の安全利用を訴えるものとして有効であると思う、または少し思うと回答した数は全体の97.6%となっている。

回答	人数	割合
思う	3415	84.8%
少し思う	516	12.8%
あまり思わない	61	1.5%
全然思わない	34	0.8%
合計	4,026	

以上のことから、仙台市内においては自転車事故件数及び自転車警告カードの交付枚数は年々減少しており、仙台市の自転車の安全利用に関する施策は一定の効果があったと考えられる。

しかし、前回の資料で示した通り、自転車が第一当事者である事故や対歩行者の事故は横ばいとなっているため、より効果のある施策について検討していかなければならない。